

給食放送 【1/11 (木)】

日根野中学校のみなさんこんにちは！
今から給食時間の放送を始めます。
おそろく給食を食べている最中だと思うので、食べながらいいの聞いてください。
まずは、今日の給食の献立です。
今日の給食は、牛乳・菜めし・お雑煮・ぶりの生姜照り焼き・酢の物です。
今日はお雑煮のお餅がのどに詰まりやすいので、みなさん特によくかんで食べましょう。

それでは、今日の放送では、「学校給食週間」についてお話したいと思います。

学校給食の始まりは、明治22年に山形県鶴岡市にある小学校で、家庭が貧しくてお弁当を持ってこられない子どもたちのために無料で食事を提供したことからはじまったといわれています。
その後、全国で学校給食が実施されるようになりましたが、戦争等による食糧不足で中止することが決まりました。

そして戦後、栄養失調の子どもたちを救うため、外国からの援助により給食が再開されました。
そのことを記念して、毎年1月24日～30日を全国学校給食週間とし、各地でさまざまな給食に関する取り組みを行っています。

中学校ではその期間中、中止校が多いため、今年は1月15日～19日を泉佐野市学校給食週間として、生徒が考えたメニューを献立に取り入れています。

今回は「冬が旬の野菜をおいしく食べよう」をテーマに給食レシピを募集したところ、344通の応募をいただきました。その中から7点を給食献立に採用します。

また、給食のような大量調理では作りにくいけれど、おうちで作れそうなレシピ6点を1～3月の献立表に載せています。ぜひおうちで作ってみてください！

現在の給食は、食事の提供だけでなく、栄養バランスや今日のお正月献立のお雑煮やぶりのような行事食、地域の食文化や食べ物への感謝の気持ちなど、さまざまなことを学ぶための「生きた教材」として活用するなど「食育」の役割も担っています。

時代の流れとともに変化を続ける学校給食ですが、いつの時代も子どもたちを大切に思う気持ちが続まっています。その思いを感じて食べてもらえたらと思います。
よろしく願います。

以上「学校給食週間」についてのお話でした。

それでは、今日の放送はここまでです！
給食時間の放送をしていたのは、中学校給食センター栄養教諭の
ありがとうございました。